



市営バス制服の歴史



① 昭和3年開業当時の女性車掌用制服

昭和3年開業当時の乗合自動車の女性車掌の制服です。市電保存館には当時の制服を保管しており、それを元に作製したレプリカを展示しています。

同デザインで上衣が白の夏服もありましたが、素材の性質上保存ができず、写真に残されているだけとなっています。



昭和3年開業当時の乗合自動車の女性車掌用制服（冬服）



昭和3年開業当時の乗合自動車の女性車掌用制服（夏服）

② 昭和 63 年から平成 9 年のバス乗務員用制服（女性用）

昭和 63 年から平成 9 年まで着用していたバス乗務員用制服（女性用）です。

この時代から、バス乗務員と地下鉄駅務員の接客服のデザインが統一されました。

交通局では初の女性ドライバーが誕生し、この制服を着用しました。



横浜市交通局初女性ドライバー用制服

③ 平成 10 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日のバス乗務員用制服

平成 10 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで着用していた制服です。

ベストとネクタイを新たに採用し、上着はダブルブレストスタイルを採用しました。生地は濃紺色、チェック柄に金色のボタンとおしゃれを意識したデザインとなっています。

制帽は、バス乗務員がハイバック型、地下鉄職員がドゴール型です



女性用制服

左側ハイバック型がバス乗務員制帽
右側ドゴール型が地下鉄職員制帽



男性用制服

④ 平成 26 年 4 月 1 日からのバス乗務員用制服

平成 26 年度に横浜市交通局の新しい顔となった新制服です。

ブラックネイビーの織り柄ストライプ素材を使用したシングルスーツに、袖のシルバーラインや、オリジナルボタンをプラスしたデザインです。

規律正しい印象にシャープなイメージを加えて、「横浜らしく・公共交通機関らしい」全体感に仕上げ、清潔感・安心感を持ってもらうようなデザインとしています。

ネクタイと女性用のリボンは、よく見るとハママークを織り込んだドット柄になっています。



男性用制服

女性用制服